

令和元年度

事業報告書

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 環境教育及び環境人材の育成に係る活動

1) 資格認定講習

受講者数を維持すべく、【東京】芝浦工業大学（1月11日（土）12日（日））と【北海道】札幌科学技術専門学校（10月27日（土））にて開催し31名の受講者であった。内訳等は以下のとおり。

令和元年度受講者数内訳

級	人数
上級	1名
中級	24名
初級	6名（うち北海道1名）

環境再生医受講者推移（直近5年）

（単位：人）

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
初級	9	12	2	6	6
中級	14	13	21	17	24
上級	3	0	1	0	1
合計	26	25	24	23	31

2) 認定校制度

282名の環境再生医初級を認定中。

認定校での認定者数推移（直近5年）

（単位：人）

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年
認定校	247	337	212	257	282

令和元年度 認定校 環境再生医 取得者数

認定校名	学部	申請者数
岩手県立大学	総合政策学部	10
岩手大学	農学部	17
岩手大学	人文社会科学部	4
江戸川大学	社会学部	0
大阪産業大学	人間環境学部	6
金沢大学	人間社会学域	0
岐阜女子大学	家政学部	0

岐阜大学	応用生物科学部	4
九州産業大学	工学部	13
京都学園大学	バイオ環境学部	5
甲南大学	文学部	0
神戸女学院大学	人間科学部	7
神戸大学	国際人間科学部	6
実践女子大学	生活科学部	4
芝浦工業大学	システム理工学部	21
尚絅学院大学	総合人間科学部	3
信州大学	農学部	31
東京テクニカルカレッジ	環境テクノロジー科	13
第一工業大学	工学部	0
拓殖大学	政経学部	8
拓殖大学北海道短期大学	農学ビジネス学科	7
玉川大学	農学部	23
玉川大学	リベラルアーツ学部	2
都留文科大学	文学部	5
東海工業専門学校金山校	昼間部	0
東海大学	海洋学部	11
東京農工大学	農学部	4
常葉大学	社会環境学部	4
長崎大学	環境科学部	5
西日本短期大学	緑地環境学科	2
日本工科大学校	環境建設工学科	4
日本大学	生物資源科学部	24
日本大学	理工学部	13
北海道科学大学	工学部	0
宮城大学	食産業学部	18
宮崎大学	農学部	0
龍谷大学	(学部共通)	8
	合計	282

3) 資格制度の質の向上

- ・認定校（拓殖大学、東京テクニカルカレッジ専門学校）より授業の受託。
- ・環境再生医へ有償案件のマッチング実施（2件）。
環境再生医と東京テクニカルカレッジ専門学校、環境再生医と神奈川県某 SC 屋上庭園（畑）。
- ・環境再生医より寄付支援（損保ジャパン）

4) 資格取得者の管理（更新等）

更新対象者数90名のうち53名が更新を行った（更新率58.9%、前年度比10.4%減）。

② 身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動

1) レンジャーズプロジェクト

レンジャーズ隊員の派遣を37回（雨天中止含まず）行い、394人の参加があった（企業・認定校のレンジャーズは除く）。また、新型コロナウイルス感染拡大防止で3月の活動は全て中止となった。

隊員登録数は3,481名。（3月31日現在）

横浜市内での実施はNPO法人よこはま里山研究所と協働で行った。

また、NPO法人よこはま里山研究所が横浜市より受託した事業「森づくりボランティア体験会」の一部業務をレンジャーズプロジェクトが受託し、隊員を7回派遣した。

3団体（株式会社イーウェル、NPO法人フュージョン長池、拓殖大学）から受託したプログラムを実施した。

2) 大阪マラソン 2019

大阪マラソン 2019 公式寄付先団体としての選定を受け、大阪府内の自然環境保全活動を促進するおおさかレンジャーズプロジェクトを行った。地域に密着し、大阪府内の自然環境保全活動を行っている環境 NPO の人手不足を解消すると共に、保全フィールドを次世代につなぐことを目的に「レンジャーズプロジェクト」を大阪府内3か所（大阪城公園・高槻市内の芥川・枚方市穂谷の里山）にて実施した。

2019.04.20 農作業で汗かきミッション！ in 穂谷の里山

2019.05.18 魚とひとのための川づくり！ in 芥川緑地

2019.06.02 お城の森の環境保全 in 大阪城公園

2019.07.20 お城に見守られながら美しい景観を守ろう in 大阪城公園

2019.09.21 収穫の秋に！農家のお手伝い in 穂谷の里山

2019.10.19 ひとと魚にやさしい川づくり！ in 芥川緑地

2019.11.09 マラソン大会間近！大阪城の景観を守ろう in 大阪城公園

2019.12.14 紅葉狩りもギリ間に合う？！公園の景観を守ろう in 大阪城公園

2020.01.25 公園をきれいにして良い一年に！ in 大阪城公園

2020.02.15 農家さんの冬仕事を体感しよう in 穂谷の里山

2020.03.21 大阪の水辺環境を守ろう！ in 芥川緑地

3) 三井住友銀行ボランティア基金 2018 年度（フィランソロピーバンク）

レンジャーズリーダー増員の為の募集ツールの作成、企業協賛獲得に向けたプランの作成やツールの作成などを行い、レンジャーズプロジェクトのリーダー不足と資金不足の課題解決に取り組んだ。

4) Panasonic NPO サポートファンド 2019 年度 環境分野 継続助成

レンジャーズプロジェクトの資金不足解決の為、専門家の助言指導を受けながら企業協賛獲得に向けた取り組みをしている。その他、更なるリーダー増員の為に環境再生医との連携、業務効率化の為の業務改善に取り組む。

なお、本助成金事業は、2020年1月より開始し、2020年12月まで実施する。

③ 農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動

1) ふるさと未来創造事業

農林水産省「平成31年度農山漁村振興交付金」の採択があった地域協議会等より受託して以下の業務を行った。

団体名称／地域	内容
石巻みらい農泊推進協議会／宮城県石巻市	水産業を中心としたコンテンツ造成、プロモーション媒体作成、組織体制確立を行った。
石川町農泊実施協議会／福島県石川郡石川町	環境保全型農業やホテル観察会を中心としたコンテンツ造成、プロモーション媒体作成、組織体制確立を行った。
さんむ農泊推進協議会／千葉県山武市	飲食店（洋食・寿司等）や環境保全型農業、観光農園等の多様な主体 26 団体による多彩なコンテンツ造成、プロモーション媒体作成、組織体制確立を行った。
長柄町林業体験型宿泊推進	ログハウスのセルフビルドプログラムの構築、プロモーション

協議会／千葉県長柄町	ョン媒体作成、組織体制確立を行った。
たかす農泊実施協議会／岐阜県郡上市高鷲地区	修験体験プログラム・じんだ料理等を核としたコンテンツ造成、プロモーション媒体作成、組織体制確立を行った。
種子島・伊関農泊推進協議会／鹿児島県西之表市伊関	サトウキビ・黒糖を中心としたコンテンツ造成、プロモーション媒体作成、組織体制確立。

2) 静岡トヨタ自動車(株) ハイブリッド基金助成事業

松崎町石部棚田の上流域にホタル水路を新たに造成した。このために必要となる山林土地所有者や土地管理者との合意を得、地域のホタルの専門家と共に調査・計画策定を行い、ホタルの生息環境づくりを今年度は11回・延べ30人で行った。

3) 湘南国際マラソン2019

湘南国際マラソン2019の公式寄付先団体として選定を受け、東日本大震災ならびに福島第一原発事故によって被害を受けた地域にて、ふたたび自然と共に生きる地域社会を創るべく、被災地における自然を活かした地域再生活動を行った。

・自然資源を活かしたツーリズムの支援

岩手、宮城、福島各県の沿岸被災地では、観光や視察で訪れる人の数が伸び悩み、風化への懸念が強まっている。中でも、被災者らが震災の体験や教訓を話す「語り部」ガイドの利用者はピークから大きく減少し、震災の伝承に関わる団体や個人は、将来的な活動継続への危機感を募らせている。

岩手県沿岸部で2010年582万人が2016年387万人。宮城県気仙沼・石巻圏で805万人が551万人。福島県浜通りで1,615万人が1,067万人と40%近く減少している。(2018年3月時点)

豊かな生物種や水産資源、美しい風景をもちつつも、震災をきっかけに減少してしまった観光客。地域の魅力や自然の豊かさを多くの方に知ってもらい、守るべき環境財産としてこれからも保全していくべく、岩手県内沿岸部・福島県を含めた東北のグリーン・ツーリズムやエコツーリズム実施団体等をマッピング化しプロモーションに努めた。

URL : <http://www.narec.or.jp/report/5955/>

・子どもたちへの自然体験支援 (宮城県気仙沼市舞浜地区)

東日本大震災により、津波で破壊された気仙沼の海岸線では防波堤を建てる復旧復興工事が開始されたため、子どもたちが簡単には海に近づけない状態になった。

気仙沼市の一部では地域住民の希望により浜辺を守ることができた。この浜辺や漁港を活かして、この海を好きになり、一緒に守り浜をもっと活性化させたいという思いから、海を楽しみ、知るイベントの支援を行い、地域の子もたちと海との関係を取り戻す自然体験プログラムが開催された。

④ 自然体験学習に係る活動

特になし

⑤ テキスト等の出版に係る活動

特になし

⑥ 社会啓発や情報発信等に係る活動

ニュースレターの様式を事例報告から活動報告3回(全4頁)と年次報告1回(全8頁)と全体的に変更して発行した。

月・No	内 容
7月 No.64	2018年度年次報告書
10月 No.65	特集 大阪マラソンチャリティレポート 事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト、レンジャーズプロジェクト インターン活動報告
1月 No.66	特集 大阪マラソンチャリティレポート 環境教育委員会 事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト、レンジャーズプロジェクト
3月 No.67	特集 環境再生医試験 事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト、レンジャーズプロジェクト インターン説明会、活動報告

⑦ 自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動
特になし

(2) その他の事業
なし

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【25,710】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
① 環境教育及び環境人材の育成に係る活動	1) 資格認定講習 2) 認定校制度 3) 資格制度の質の向上 4) 資格取得者の管理(更新等)	1) 10/27、1/11-12 2) 通年 3) 通年 4) 通年	1) 北海道、東京都 2) 全国 3) 東京、神奈川県 4) 全国	1) 10人 2) 3人 3) 3人 4) 3人	1) 受講者 2) 認定者 3) 参加者 4) 更新者	1) 31人 2) 282人 3) 70人 4) 53人	3,021
② 身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動	1) レンジャーズプロジェクト 2) 大阪マラソン2018 3) 三井住友銀行ボランティア基金2018年度 4) Panasonic NPOサポートファンド2019年度 環境分野 継続助成	1) 通年 2) 通年 3) 通年 4) 1月～	1) 埼玉県、東京都、神奈川県 2) 大阪府 3) 東京 4) 東京	1) 5人 2) 10人 3) 4人 4) 4人	1) 登録者 2) ランナー・チャリティーランナー 3) 登録者 4) 登録者	1) 3,481人 2) 33,000人・30人 3) 3,481人 4) 3,481人	8,920
③ 農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動	1) 農山漁村振興交付金 2) 湘南国際マラソン2019	1) 通年 2) 通年	1) 宮城県石巻市、福島県石川郡、千葉県山武市、千葉県長柄町、岐阜県郡上市、鹿児島県西之表市 2) 岩手県、宮城県、福島県	1) 3人 2) 10人	1) 協議会構成員等 2) 団体ランナー・チャリティーランナー	1) 30人 2) 25,200人・4人	12,940
④ 自然体験学習に係る活動	特になし						0

⑤ テキスト等の出版に係る活動	特になし						0
⑥ 社会啓発や情報発信に係る活動	ニュースレター	年4回	東京	4人	発送数	1,260人	826
⑦ 自然環境の復元の学的発展に貢献する活動	特になし						0

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
なし	なし				